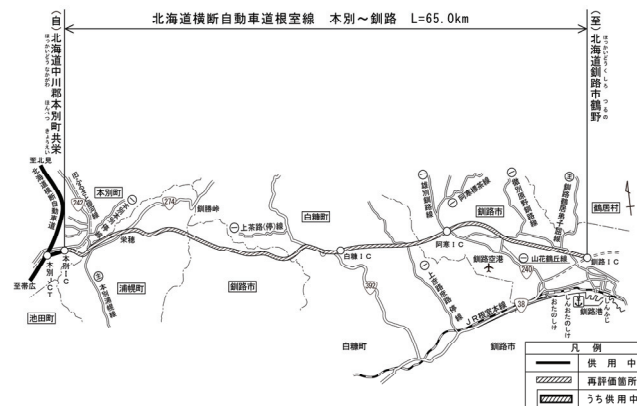


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 北海道横断自動車道根室線 <small>ほんべつ くしろ</small> 本別～釧路 事業 高速自動車 区分 国道	事業 国土交通省 主体 北海道開発局						
起終点 自：北海道中川郡本別町共栄 <small>なかがわほんべつきょうえい</small> 至：北海道釧路市鶴野 <small>くしろつるの</small>	延長 65.0 km						
事業概要 北海道横断自動車道は、黒松内町を起点に倶知安町、小樽市、夕張市、清水町、本別町等を経由し、根室・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道です。このうち本別～釧路間は、本別ジャンクションから分岐し、白糠町、釧路市を経由し根室市に至る根室線の一部を構成し、本別インターチェンジから釧路インターチェンジに至る延長65kmの事業であり、国土・地域ネットワークの構築により、釧路・根室圏と道央圏の連携強化を図り、物流の効率化や個性ある地域の形成および円滑なモビリティの確保に寄与する道路です。							
H15年度事業化 H16年度用地補償着手 H16年度工事着手							
全体事業費 約1,770億円 事業進捗率 44% 供用済延長 0.0km							
計画交通量 5,400～6,400台/日							
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;"> B/C <small>(事業全体)</small> 1.2 <small>(残事業)</small> 2.1 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> 総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 958/1,743億円 事業費：836/1,622億円 維持管理費：121/121億円 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> 総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 2,024/2,024億円 (走行時間短縮便益：1,612/1,612億円) (走行経費減少便益：310/310億円) (交通事故減少便益：101/101億円) </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;"> 基準年 平成20年 </td> </tr> </table>	B/C <small>(事業全体)</small> 1.2 <small>(残事業)</small> 2.1	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 958/1,743億円 事業費 ：836/1,622億円 維持管理費 ：121/121億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 2,024/2,024億円 (走行時間短縮便益：1,612/1,612億円) (走行経費減少便益：310/310億円) (交通事故減少便益：101/101億円)			基準年 平成20年
B/C <small>(事業全体)</small> 1.2 <small>(残事業)</small> 2.1	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 958/1,743億円 事業費 ：836/1,622億円 維持管理費 ：121/121億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 2,024/2,024億円 (走行時間短縮便益：1,612/1,612億円) (走行経費減少便益：310/310億円) (交通事故減少便益：101/101億円)					
		基準年 平成20年					
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.3（交通量+10%） B/C=1.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.9（事業費+10%） B/C=2.3（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=2.0（事業期間+2年） B/C=2.3（事業期間-2年）							
事業の効果等 ・国土・交通ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルート） ・物流効率化の支援（大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクトを支援する） 他7項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見 人的交流の促進や物流の効率化をはじめ地域の自立に向けた多様な効果が見込まれることから、遅れている北海道の高速交通道路網の実現に向けて、釧路市・帯広市など6市14町村の首長等で構成される北海道横断自動車道早期建設促進期成会等より早期実現の要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成15年度北海道横断自動車道池田IC～本別IC、本別ジャンクション～足寄IC間が供用。 ・平成17年10月に釧路市、阿寒町、音別町が合併し、新釧路市が誕生。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度より工事着手して、用地進捗率45%、事業進捗率44%となっている。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代後半の暫定2車線供用を予定している。							
施設の構造や工法の変更等 構造物の設計の見直しによるコストの縮減を図っている。							
対応方針 事業継続							
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図							



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。